

続・自由研究「みはるかす」

今回は前号から先送りした「みはるかす」の自由研究の続きです。OB 会報第 84 号で書きましたようにみはるかすの歌詞は横浜国大サイト (脚注①) に掲載されていますから、2 番の歌詞は「悔いのなきその日その日を」が正しいことは明らかなと思います。友松会 (教育系学部同窓会) のサイト (脚注②) には作詞された加藤英子 (旧姓 鶴若) さんのコメント (脚注③) と共に掲載されていますから、間違いないでしょう。では、間違えていたのは我々 YWV だけでしょうか。

ネットワンダリング (筆者の造語) をしていると横浜国大サイトを含め、横浜国大のグリークラブ、女性合唱団、混声合唱団など多くの音楽グループが Youtube に「その日その日を」と歌っている動画をアップロードしています。あの有名な初音ミク (ボーカロイド) も歌っていました (脚注④)。更にネットワンダリングを続けていますと、弘陵造船航空会のサイト (脚注⑤) で見つかりました。ここでは「その日々を」と紹介されています。蛇足ながら 2 番の歌詞では「我らの道を」になっていました。続けて Youtube でグリークラブの 2017 年演奏会の動画 (脚注⑥) も発見しました。聴いてみますと、私の耳には「その日々を」と歌っているように聞こえます。皆様も一度聞いてみてください。

Youtube の中をふらふらとワンダリングしていると、歌詞だけでなく、メロディーも 2 種類あることに気がきました。「つきせぬものは」の箇所メロディーです。楽譜が分かる方は横浜国大サイトの楽譜をご覧ください。こちらが正しいメロディーです。また、前述の弘陵造船航空会のサイトの「みはるかす他」 (脚注⑦) では音源も付いていますし、作曲者注として誤りを指摘して楽譜も載っています。

結局、この「誤り」をしているのは我々 YWV だけではなく、他の方々も多くいることが分かりました。みはるかすは言葉と同じように時代と共に変遷しているのではないのでしょうか。もはやこれは「誤り」ではなく、異形態 (漢字の異体字のようなもの) だと考えます。公式な場を除いて我々 YWV だけで歌う時は今まで通り YWV バージョンで歌いたいと思います。一方、何故「その日々を」となって広がったかは分かりませんでした。この理由や更に詳しい事情をご存じの方は、編集委員会に是非ご連絡ください (メールアドレス: henshu-mail@ywvob.org)。

尚、本話題とは直接関係はありませんが、教育学部 創基 150 周年記念事業で「みはるかす碑」を建立する企画があり、2028 年 3 月まで寄付を募っています。ご興味のある方は横浜国大基金サイト (脚注⑧) をご覧ください。

【脚注】

- ①横浜国立大学 学生歌
<https://www.ynu.ac.jp/about/ynu/song/student.html>
- ②友松会 学生歌「みはるかす」
<https://yuusyoukai.org/p06shiryoshitu.html#k06>
- ③学生歌の生まれた頃 (PDF ファイル)
https://yuusyoukai.org/gakusei_shien/a_kato_umaretakoro.pdf
- ④横浜国立大学 学生歌「みはるかす」(初音ミク)
<https://www.youtube.com/watch?v=nafaZST0RiA>
- ⑤弘陵造船航空会
<https://www.kouryou.org/>
- ⑥横浜国立大学学生歌 みはるかす 横浜国立大学グリークラブ
2017 年 10 月 29 日 (日) 横浜みなとみらいホール 大ホール
横浜国立大学グリークラブ 創部 70 周年記念演奏会
<https://www.youtube.com/watch?v=spSeV699pS4>
- ⑦弘陵造船航空会 「みはるかす他」みはるかす (音源付)

<https://www.kouryou.org/audio/miharukasu.pdf>

⑧横浜国立大学基金 教育学部 創基 150 周年記念事業

<https://kikin.ynu.jp/project/AnniversaryProjects/kyoiku150>

【脚注の URL の QR コード】

お手元のスマホを使って各サイトをご覧ください。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

